

年に7回、  
市民しんぶん(区版)に  
挟み込んで配布  
しています！



またさち  
京都市会のマスコットキャラクター

# 京都市会だより



マタリーヌ  
京都市会のマスコットキャラクター

第146号  
令和7年(2025年)  
11月15日発行

●発行／京都市会 ●編集／京都市会事務局 ●〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地 ●TEL. 075 (222) 3697 FAX. 075 (222) 3713 京都市印刷物 第071624号



京都市会 検索



Facebook follow me!



京都市会YouTubeチャンネル

## 物価高を踏まえた市民生活・事業者の下支え 12億600万円

### 議論の一部

#### 省エネ家電への買換え促進事業

- 市民が利用しやすい申請方法とする必要がある。

#### 学校給食食材費高騰への対応

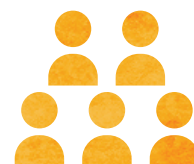
- 3学期だけでも給食費を無償化するなど負担軽減に本腰を入れて取り組む必要がある。

#### 中小事業者の省エネリノベーション支援事業

- 予算規模に見合った事業効果が生じるかをしっかり確認していくことが必要。

## 新たな公共交通体系の構築 —自動運転バスの導入に向けた実証実験— 4,700万円

担い手不足の解消や交通事故の低減など交通課題の抜本的な解決だけでなく、市民の利便性向上や地域活性化にもつながる自動運転バスの導入に向けて、市交通局等との連携のもと、実証実験を実施する。



### 議論の一部

- 国の補助金も活用し、京都府をはじめ関係機関と連携して、できる限り早期に取り組む必要がある。
- 歩行者をはじめ安全確保に最大限配慮するとともに、運転士不足や地域公共交通の課題解決につなげることが必要。

# 令和7年度補正予算を可決！

9月30日の本会議で、物価高を踏まえた市民生活・事業者の下支えや、自動運転バスの実証実験、京都市立病院の在り方検討などに必要な総額 **71億4,700万円** の補正予算を可決しました。

## 京都市立病院の今後の 在り方検討・資金繰り支援 20億5,000万円



事業規模の適正化等のあらゆる可能性を含めた病院の在り方について、外部知見を踏まえた検討を行い、年度末に方向性案を取りまとめる。あわせて、それまでの間の臨時的な財政支援として、短期貸付を行う。

### 議論の一部

- 外部の多様な意見を反映するため、既設の京都市立病院機構評価委員会の委員と連携して経営を分析し、今後の在り方を検討することが必要。
- 公立病院として閉院の可能性を一切排除し運営を継続する必要がある。

## 持続可能な行財政運営の 推進(過去負債の返済) 25億円



一般会計の収支不足を補てんするために行ってきた、公債償還基金からの計画外取崩しを一部返済する。  
(公債償還基金の計画外取崩残額 425億円→400億円)

### 議論の一部

- 過去負債を早期に返済する必要がある。
- 物価高騰下においては、一般財源を過去負債の繰上げ返済に充てるのではなく、市民生活や子育て支援に活用するべき。

### 9月市会 前半 令和7年度補正予算を審査・代表質問

9月19日

本会議

市長が議案を提出

9月22日

予算特別委員会(局別質疑)

補正予算を審査

9月30日

本会議

補正予算を議決

10月1日・2日

本会議(代表質問)

市政の課題等を議論

17名の議員が  
代表質問を  
行いました！

主な  
代表質問を  
2・3面で  
紹介します！



### 代表質問とは？

本会議において、議員が各会派を代表して、市長等に対し、市政のあらゆる事業や取組等について、現在の状況や将来に向けての方針等の確認、政策提案などを行うものです。

### 9月市会 後半 令和6年度決算等を審査

10月6日～14日

決算特別委員会(局別質疑)

事業の担当局ごとに  
詳細な質疑を実施

10月20日・21日

決算特別委員会(総括質疑)

審査の総仕上げとして、市長等  
に対して一問一答で質疑を実施

10月30日

本会議

令和6年度決算等を議決



後半は  
次号でご紹介します。  
(12月15日発行)

9月市会の議論の様子を京都市会  
ホームページからご覧いただけます！

京都市会  
ホームページ



インターネット  
議会中継







# 本会議の代表質問から



10月1日、2日の本会議では、次の17名の議員が各会派を代表して、市政の各般にわたって、市長や関係理事者に質問を行いました。ここでは、その主なものをお伝えします。

## 自 民 党



橋村 芳和  
議員  
(伏見区)

### 令和6年度市バス・地下鉄事業決算と市民優先価格

Q お客様数の回復や平均乗車単価の改善もあり、両事業とも2年連続の黒字となった令和6年度決算を市長はどう評価するのか。また、外国人観光客の利用増加などに伴い、観光課題が再燃する中、市バス等の市民優先価格の取組は重要と考えるが、令和9年度の実現に向けての現状を伺う。

A 市バス混雑対策と担い手不足への対応のほか、安全対策や利便性向上策など将来を見据えた取組も前進させたうえで黒字を確保した。市民優先価格は市民の皆様の期待も非常に大きく、できる限り早くその概要をお示したいと考えており、実現に向けてスピード感を持って取り組む。



### 西京極総合運動公園の再整備

Q スポーツに親しみ、スポーツの様々な効果を楽しむ環境づくりが本市の果たすべき責務。西京極総合運動公園の再整備、特に老朽化した施設の改修は市民のウェルビーイング向上と都市ブランド強化に資する投資との視点から市長の決意と展望を伺う。

A 総合運動公園の歴史と誇りを未来につなぎつつ、まちの活力や幸福を生み出すオープンでウェルビーイングな公園を目指す。施設老朽化は随時必要な対策に努め、再整備に併せて改善する。誰もが気軽に来園し、経済や産業の活性化や地域の賑わいにも資する多面的な公園となるよう競技団体、企業等と連携して取り組む。



代表質問の録画映像は市会ホームページからご覧いただけます！



山本 恵一  
議員  
(北区)

### 今後の環境行政

Q 今年度は将来の本市環境行政の在り方を決める重要な年。未来の子どもたちに豊かな自然環境を引き継ぐため、新しい技術も取り入れながら取組を進めることが必要。今年度末に計画期間が満了する「京都市環境基本計画」の次期計画の策定に当たり、現状認識や策定のポイントを伺う。

A 本市環境政策は大きな成果を挙げているが更に取組を進める必要がある。これまで培ったものを継承発展させつつ、新しい価値観や技術を取り入れるほか、インセンティブを意識した取組を検討。あらゆる世代が協働し次世代に豊かな自然環境を継承する京都らしい計画となるよう取り組む。



平山 たかお  
議員  
(東山区)

### 観光課題対策と民泊に対する規制

Q 本市観光対策の在り方を示すオーバーツーリズム対策基本条例の整備や、「ツーリストシップ」のような分かりやすい言葉を活用した観光課題対策を講じるべき。民泊は事業者が住民の皆様とコミュニケーションを図ることができるという要件を課すことや、エリアを限定した立地規制も必要。

A 観光客向けの分かりやすいマナー啓発を強化し観光の在り方は次期観光振興計画で検討。民泊の規制強化は、より厳格な法改正を国に要望するとともに施設への監視指導や立入を更に徹底。簡易宿所は旅館業法の規制強化を国に要望し、住宅宿泊事業法届出施設は条例による規制強化を検討。



山本 しゅうじ  
議員  
(山科区)

### 山科・醍醐地域全体の均衡ある発展と振興策

Q meetus 山科・醍醐プロジェクトを更に盛り上げるにはバランスの取れた均衡ある発展、振興策が必要。ハード面の取組と併せて、ソフト面でも成果を積み

上げていただきたい。今後の施策の充実や課題認識等、山科・醍醐地域の将来像をどう考えるのか。

A 元ラクト健康・文化館の有効活用など、まちの象徴となる取組を契機に様々な分野の取組に波及させていく。区役所・支所が結節点となり多様な主体がつながる取組を進めており、地縁組織だけではなく新たな主体の取組も生まれている。あらゆる世代がワクワクするまちの実現に向けハード・ソフト両面の取組を進める。

## 維新・京都・国民



中野 洋一  
議員  
(東山区)

### オーバーツーリズム下における宿泊施設の考え方

Q 現在、簡易宿所が無尽蔵に増えており、町内にほとんど住民がいらない町があちこちに生まれるのは時間の問題。総量規制やエリアを絞った上限設定など早急に策を講じるべき。また、オーバーツーリズムの今、「宿泊施設の誘致方針」の見直しも求める。

A 総量規制は現行法上できないほか、価格高騰などの懸念がある。宿泊施設の在り方を含め、地域主体で地区計画等を策定する際には専門家派遣等により支援している。宿泊施設拡充・誘致方針は宿泊施設の質向上が重要との考え方を示したものであり、引き続き市民生活との調和や地域活性化につながるよう努めてまいる。



久保田 正紀  
議員  
(伏見区)

### 地域コミュニティHubの役割

Q 全ての区役所・支所に設置された区Hubは市民と地域のコミュニティをつなぐ重要な組織。区役所職員の人事配置や区長に対する期待について伺う。また、区Hubの取組を今後の市政の大きな柱にしてほしいが、どのように広げ、次世代へと紡いでいくのか。

A 区役所の体制強化を進めており、知識・経験と意欲のある職員の配置や区役所と政策部局間の人事ローテーションを進めていく。区役所の中でも、地域特

性を熟知している区長の役割は大きい。交流ロビーなどの公共空間をまちに開く取組が各区で展開されており、引き続き、地域コミュニティHubの取組を一層推進する。



河村 諒  
議員  
(左京区)

### 市営住宅の適切な管理

Q 様々な役割を果たすべき市営住宅だが、本市の管理運営は不十分。避難経路に私物を置くなど人命に関わる法律違反がほとんどの団地で見られる。令和7年2月市会の総括質疑で「適切に管理していく」と答弁されたが、現状のどこが適切な管理なのか。

A 本市の市営住宅は公社及び指定管理者が適切に管理業務を行っている認識している。共用部分の状況は公社等の巡回などで把握しており、公社等が本市と連携して是正指導を行うなど、丁寧に対応し、安心して暮らせる生活環境の確保に取り組んでいる。更なる良好な居住環境の確保に向け、公社等に努力を求めている。



土方 莉紗  
議員  
(南区)

### 小中学校における空調設備の計画策定

Q 市内小中学校で空調設備の故障が相次いでいる。早急に修繕できない場合もあるため、次期更新計画策定の際には更新だけではなく保守点検整備も同時に検討すべき。優先箇所や設置順位、長期の保守点検整備や、教育機会確保のための設置の考え方を含め、どのように計画に落とし込むのか。

A 令和6年度に空調更新の事業手法の検討と計画策定に着手。PFI方式が最適と判断し、令和12年度までに整備を完了し、25年度まで維持管理を行う計画としている。事業期間中の保守点検に故障等対応も含んでいる。今後も子どもたちの教育活動保障のため着実に更新計画を進めていく。





自民党＝自由民主党京都市会議員団、維新・京都＝維新・京都・国民市会議員団、  
共産党＝日本共産党京都市会議員団、公明党＝公明党京都市会議員団、  
民主・市民フォーラム＝民主・市民フォーラム京都市会議員団



録画映像は  
こちらから



同会派のその他の質問議員



江村 理紗  
議員  
(右京区)



中高 しゅうじ  
議員  
(上京区)

共 産 党



西野 さち子  
議員  
(伏見区)

北陸新幹線延伸計画

Q 今の計画では様々な懸念や課題が解決されないことは明らかであり、国や鉄道・運輸機構に本市として態度をはっきり示す時。まずは市民合意が得られていないという認識を示し、計画への反対を表明することが市長の責務。無駄に判断を引き延ばすのではなく今こそ中止を求めるべき。

A 国策としての意義は十分認識しているが、ルート再検証の話も出ており、現時点では国政の動向を注視する必要がある。市内を通るのであれば地下水への影響等の5つの懸念・課題について市民の皆様の理解・納得が不可欠。引き続き国や鉄道・運輸機構に丁寧な対応を求めていく。



山田 こうじ  
議員  
(右京区)

伝統産業の後継者支援

Q 京都には多数の芸術系大学があり、卒業生が京都の伝統産業に従事できるよう就労支援が必要。また、本市でも新規参入研修者とその親方等へ奨励金の給付を実施し、後継者育成を行うべき。さらに伝統産業の存続のため、工程ごとの実態調査を行い、工程を維持できる適切な支援が必要。

A 今年度から伝統産業技術後継者マッチング事業を実施し、学生の就労支援に取り組んでいる。後継者育成制度により若手職人に技術研さんの資金を直接支給しており、今年度から対象要件を拡大した。事業者の実態を把握

し設備改修等補助金を支給するなど工程維持の支援も実施している。



山本 陽子  
議員  
(山科区)

球技ができる公園の増設

Q 本市が指定する球技広場は市内に19か所しかなく、山科区をはじめ北区・下京区・東山区には一つもない。周辺住民の合意や面積等の基準がハードルとなっている。今ある環境の活用や住民合意をサポートする等の工夫はできないか。子どもたちの願いを受け止め、小学校区に一つ以上球技ができる公園を増やしてほしい。

A 球技ができる公園については、Park-UP事業において独自のルール設定が可能。現在ボール遊びに関するルールを検討し、地域合意を目指して社会実験を予定している公園もある。今後も市民の皆様のご意見を受け止め、魅力あふれる公園づくりを推進する。



公 明 党



平山 よしかず  
議員  
(西京区)

学生に選ばれるまち京都

Q 「学生のまち」を掲げる本市として、少子化のもとでも一定の学生数を確保する取組は必須。就労・奨学金返済一体型支援事業の制度拡充、就職先や住まいといった卒業後の環境整備を行い、京都で学ぶ魅力を発信していくことが重要。「学生に選ばれるまち京都」へ、どのようなまちづくり、施策を進めていくのか。

A 就労・奨学金返済一体型支援事業は、制度拡充や広報強化に向けて府とも協議している。幅広い分野の企業の誘致や若者・子育て世代向けの住まいの支援など、卒業後の環境整備も進めてい

る。引き続き、大学・学生のまちとして輝き続ける都市を目指す。



かわしま 優子  
議員  
(伏見区)

死産・流産を経験された方へのグリーフケアの取組

Q 流産や死産等でかけがえない小さな命を亡くされたお母さんやご家族の悲しみは計り知れない。グリーフケアの重要性を広めるとともに必要な情報を分かりやすくまとめたリーフレットの整備や相談窓口の明確化を進めてほしい。また、流産や死産を経験された方も専門施設での産後ケア事業を利用できるようにすべき。

A 産後ケア事業で流産・死産を経験された方を専門に受け入れる施設を本年中に新たに拡充する。当事者に情報が届くようパンフレット作成や産婦人科医院とも連携した情報発信を進める。当事者の悲しみに社会全体で寄り添うまちを目指し全力で取り組む。



松田 けい子  
議員  
(山科区)

市民に優しいデジタル行政の推進

Q 「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」の実現には、行政情報へのアクセス性を高めることが重要。特に、制度案内やオンライン申請は利用しやすい設計が必要。属性やライフステージに応じて必要な支援を先回りして届ける本市独自のプッシュ型サービス構築をどう進めるのか。

A 使いやすい情報発信に向け、京都市情報館トップページに「オンライン手続一覧」の入口を設ける等の改善を検討する。プッシュ型サービスは手続き漏れ等の軽減に重要で、国の動きとも連携して取り組む必要がある。引き続き、プロジェクトチームを中心に更なる利便性向上に取り組む。

民主・市民フォーラム



天方 ひろゆき  
議員  
(西京区)

人と公共交通優先のまちづくりと新交通システムの導入

Q 西京区や山科区などの本市周辺部ではそれぞれの経緯の中で交通の取組をされてきた。今後、周辺部の地域特性に応じた人と公共交通優先のまちづくりをどう進めるのか。また人口や交流人口増加を予測しながら都市型ロープウェイを含む新交通システムの全市的な導入を検討してほしい。

A 西京区や山科区では鉄道駅との接続を中心としたバス路線網を目指し、取り組んでいる。新交通システムについて、まずは、自動運転バスの実証実験に着手する。都市型ロープウェイを含む様々な新交通システムも引き続き研究し、京都にふさわしい公共交通体系の構築に向け検討を進める。

用語解説

\*1 ウェルビーイング

個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念。

\*2 地域コミュニティHub

市役所、区役所・支所の組織の垣根を越えて、市民や地域の多様な主体の「つながり」や「むすびつき」を、形成・促進するチーム。区役所・支所に区Hub、市役所に市Hubを設置。

\*3 PFI

公共事業を実施するための手法の一つ。民間の資金と経営能力・技術力（ノウハウ）を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法。地方公共団体が発注者となり、公共事業として行うもの。

\*4 Park-UP事業

地域に身近な住区基幹公園（街区公園、近隣公園、地区公園）を対象として、地域が主体的に公園の管理運営を進め、また、地域からの要望に応じ、民間企業などの多様なサポート団体の支援を受けることができる事業。

\*5 グリーフ

深い悲しみ、悲嘆、苦悩を表す言葉で、死別等により引き起こされる心身共に不安定な状態。そうしたつらい心情を理解し、回復へ寄り添いサポートすることをグリーフケアという。

※文章中で使用している画像はイメージです。





# 常任委員会のしごと 他都市調査レポート

令和7年8月の動き

常任委員会では、他都市の先進的な事例や特色ある取組などを調査し、市会の活動や市政の推進に役立てるために他都市調査を行っています。8月に行った各委員会の他都市調査の一部をレポートします。

## 総務消防委員会

### FUKUOKA IS OPENセンターの取組(福岡県)

総務消防委員会では、廿日市市、熊本県、福岡県において、他都市調査を行いました。福岡県では、県や国等の外国人材に係る専門機関が一体となり、在留外国人の方の生活や就労など様々な相談をワンストップで多言語対応するため令和6年に開所されたFUKUOKA IS OPENセンターにおける、窓口の利用状況及び実施に当たり生じた課題や解決方法等について調査するとともに、施設内を視察しました。



## 環境福祉委員会

### 認知症支援(認知症ケアコミュニティ推進事業等)の取組(大牟田市)

環境福祉委員会では、神戸市、福岡市、福岡県、大牟田市において他都市調査を行いました。大牟田市では、平成14年度から認知症の方が安心して暮らせるまちづくりに向けて、様々な取組を実施されており、認知症コーディネーター養成研修など、行政だけでなく地域全体での人材を育成する取組及び今後の取組である外出支援等について調査しました。



## 文教はぐくみ委員会

### 金沢文化スポーツコミッションの取組(金沢市)

文教はぐくみ委員会では、大和市、東京都文京区、さいたま市、金沢市において他都市調査を行いました。金沢市では、大会誘致や合宿誘致を推進することによる交流人口の拡大、さらに強みであり地域資源でもある文化とスポーツを掛け合わせることで新たな魅力を生み出すことを目的に設立された金沢文化スポーツコミッションについて、運営方法、特徴のある取組の内容、取組の実績や効果等を調査しました。



## 常任委員会とは？

- ① 議員が分野別のグループに分かれて、市の仕事について、専門的に議論を行うために設置している。
- ② 1年を通じて、委員会ごとに毎月2回程度、会議や調査を行っている。



## まちづくり委員会

### ウォーカブルなまちづくりの取組(東京都千代田区)

まちづくり委員会では、東京都大田区、杉並区、千代田区、三鷹市、豊島区、墨田区において他都市調査を行いました。千代田区では、ウォーカブルなまちづくりの取組の概要、ウォーカブルなまちづくりデザインの策定経緯及び実証実験の成果等を調査するとともに、実際に取り組まれているエリアについて現地視察を行いました。



## 産業交通水道委員会

### 量子コンピュータの取組

#### (量子・AI融合技術ビジネス開発グローバル研究センター)

産業交通水道委員会では、つくば市、東京都、岩手県において他都市調査を行いました。つくば市にある、量子技術とAIの融合による新たな計算技術の社会実装を目指し、令和5年7月に設立され、量子コンピュータを含む最新技術の開発に取り組まれている量子・AI融合技術ビジネス開発グローバル研究センターにおいて、量子コンピュータの概要、活用例及び今後の課題等について調査するとともに、施設内を視察しました。



## 令和7年度 京都市会議員 研修を実施しました！

**テーマ** 「わかりあえないことから ― 演劇教育と他者理解 ―」

**講師** 平田 オリザ氏

(劇作家、演出家、芸術文化観光専門職大学学長、京都市特別顧問、青森県立美術館館長)

9月19日(金)に、市会議場で京都市会議員研修を実施しました。

講師からは、長年、演劇手法を取り入れたコミュニケーション教育の実践を重ねてこられたご経験から、これからの時代に求められるコミュニケーションの在り方などについてお話いただきました。



**研修の録画映像配信** 【期間】令和7年12月26日(金)まで  
京都市会YouTubeチャンネルからご覧ください。



## 市会からのお知らせ

### 11月市会の開催予定

#### 代表質問

11月28日(金)

市民の声を届ける！

KBS 京都

テレビでも生中継

詳しい日程は、市会ホームページからご覧いただけます。  
(※日程は変更になる場合があります。)

#### テレビ中継

本会議の代表質疑・質問の模様をKBS京都テレビで中継しています。



本会議や委員会の生中継と録画の映像を配信しています。ぜひ、ご視聴ください。

市会だよりに関するお問い合わせは

市会事務局調査課 TEL:222-3697 FAX:222-3713

11月市会は、11月25日(火)から12月11日(木)まで開催する予定です。

#### 本会議の傍聴、委員会の傍聴・モニター視聴

本会議は傍聴することができます。事前申し込みによる手話通訳も実施しています。また、委員会も傍聴できるほか、市役所北庁舎3階の市会オープンスペース(市会モニター視聴室)で視聴いただけます。

※傍聴・モニター視聴のご案内については、変更の可能性があります。  
最新の情報は市会ホームページをご確認ください。

インターネット  
議会中継



京都市会 YouTube  
チャンネル



京都市会  
ホームページ

京都市会 検索



4年間で総額5億円  
～議員報酬20%削減～

しっかり取り組んでいます

